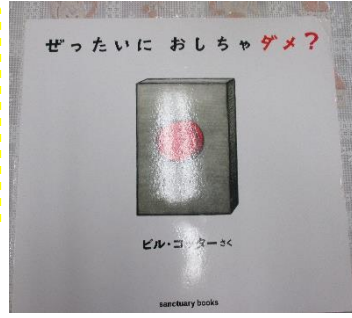


～絵本読み聞かせボランティア来所～

令和元年 12月5日 (木)

絵本講師の板谷先生が、ふれあいタイムの中で絵本を3冊読んでくださいました。

今の季節にぴったりのクリスマスの絵本もあり、とてもほっこりしたひとときでした。



『ぜったいに おしちゃダメ?』
作:ビル・コッター
出版社:サンクチュアリ・パブリッシング

1冊目は大型絵本「ぜったいに おしちゃダメ?」ダメっといわれると、触りたくなっちゃいますよね! ボタンを押したり、絵本を振ったり、参加型のとても楽しい絵本です♪



絵本講師 板谷 仁美先生

2冊目は、ねずみちゃんとなかまたちの『キラキラ クリスマス』電球に光が灯る、素敵なしなかけが!



3冊目は、板谷先生おすすめ「もりのおくのクリスマスツリー」あったかいストーリーときれいな絵は大人も楽しめる絵本です。



ねずみちゃんとなかまたちの『キラキラ クリスマス』
作:サム・タププリン 絵:アリソン・フレンド
訳 やまぐち りこ 出版社:ひさかたチャイルド

『もりのおくのクリスマスツリー』
作:ユーヴァル・ゾマー
訳:石津 ちひろ
出版社:ほるぷ出版



★板谷先生のワンポイントアドバイス★



Q: 読み聞かせはいつから?

A: 絵本に年齢制限はありません。0歳の赤ちゃんでも楽しむことができます。

例えば、子守歌を考えてみましょう。赤ちゃんは歌詞の意味がわかっているわけではないけれど、お母さんが優しくリズムカルに声をかけてくれることで安心して、眠りの世界に入っていきます。豊かな言葉の語りかけによって、子どもの心は育っていくのです。

赤ちゃんにとって、絵本はおもちゃと同じ感覚です。途中でページをめくったり、なめようとしたりして集中できない時は、機嫌の良い時に子どものペースに合わせて読んであげましょう。心の余裕をもって接することが大切です。

Q: 読み聞かせはいつまで?

A: 制限はありません。読めるようになって『読んで』といってくる間は読んであげましょう。「自分で読む」ということと「読んでもらう」ことは全く別物です。子どもにとっては親を独り占めし、愛情と心と体全体で感じることでできる最上の時間です!

